

自治会連合会会報

第14号

自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や、青少年の健全育成、交通安全、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。
自治会・町会・地区・区に加入して交流を深め、地域の輪を作りましょう。



道の駅「庄和」北東側水路沿いの桜並木

主な内容

- 自治会・町会・地区・区の特徴および活動状況の紹介、役員視察研修会報告
- 内牧地区の紹介、市議会議員定数削減を求める請願提出及び結果報告、地域貢献賞表彰報告

平成21年度活動報告

- 定例総会……………平成21年5月14日
- 自治会活動の手引き発行……………5月14日
- 春のクリーンデー……………5月31日
- 正副会長会議……………4月15日他 8回
- 理事会……………4月15日他 7回
- 役員研修会……………11月19・20日
- 各地区体育祭の実施
 - 粕壁地区体育祭……………10月11日
 - 内牧地区体育祭……………10月11日
 - 武里地区体育祭……………10月11日
 - 武里団地地区体育祭……………10月11日
- 豊春地区体育祭……………10月11日
- 幸松地区体育祭……………10月11日
- 豊野地区体育祭……………10月11日
- 庄和地区体育祭……………10月11日
- 研修会……………22年2月20日

講演

【演題】 「落語から見る
地域コミュニティの在り方」
【講師】 落語家 三遊亭 鳳楽氏

- 地域貢献賞表彰……………22年2月20日

【協力事業】

- ★日赤社資・社協会員の増強への協力
- ★赤い羽根・歳末たすけあい等募金運動への協力
- ★「春日部市レジ袋大幅削減のためのマイバッグ持参運動の推進に関する協定」を市と締結し、容器包装ごみの削減に協力
- ★ごみの5分別収集への協力
- ★自主防災・防犯活動への協力

【その他】

- ★各種審議会等への委員選出
- ★各種行政機関との連絡調整 等

我が街の活動紹介

● 順不同 ●



小湊本村地区防災センター

地区に於いて特筆すべきは、地区の皆様の協力で地区費を積み立てて、長年の念願であった集会所を平成17年4月に小湊本村地区防災センターとして完成させた事です。地区名で保存登記するため、会員の賛同を得て



小湊本村地区

地区長
小関彦長

小湊本村地区は、国道4号線と国道16号線の交差点を中心に広がり、地区内には米久・春日部市場・春日部温泉などがあり、春日部サンハイツはじめマンション5棟を含めて1470世帯、小湊6地区の中心に位置しております。地区組織は7ブロックとマンションで編成され、ブロック長・組長・会計・監事・クリーン推進員・防犯ボランティアなど51名で運営されております。

地縁団体として認可されており、この機会に小湊本村地区会則も整備しました。災害時の拠点を目的としたものですが、組の集会・会議等、又地域のミニ文化祭、時には年に数回音楽コンサートも開催しており、年々使用回数も増え、地域社会に有効に活用されております。地区にはちびっこ広場が前田と中島の2ヶ所にあり、草取り清掃を行っています。また通学区は、16号線を境に幸松小学校と小湊小学校に区分されており、それぞれの学区において防犯ボランティアが活躍しています。他にも古利根川清掃、春秋のクリーンデー、市民夏祭り、体育祭、防災訓練、小学校資源回収の協力等を実施しております。今後も役員・地区の皆様と共に住み良い環境の向上に努力してまいります。



陣屋町自治会

会長
関根 偉

陣屋町自治会は、春日部駅東口より徒歩5分の位置にあり、通勤に大変便利で、昔は銀座通りと称され町一番の商店街でした。しかし最近寂れてしまい戸数も昔の半分位の32戸となり、粕壁地区内では最小の町内になってしまいました。とは言っても我が町内は歴史が古

く、町内に陣屋があり「陣屋町」と命名されたと言われています。町内のほぼ中心部には守護神の稲荷大明神があり、毎年3月に初午当番と町会役員が協力し、設営から片づけまでを担い、初午祭を盛大に行います。宵宮には伝統の初午太鼓を長老より習得し、次世代の子ども達に継承し伝統を残したいと思っております。



餅つき大会風景

他には、7月に行う子ども中心の夏祭り、夏季休暇中のラジオ体操、町内及び周辺の「巡回補導」を育成会と協力し行っています。又、昨年度は「いきいきクラブ」と共催にて三世交代流事業の一環として「餅つき大会」を企画実施しました。また、2か月に一度「資源回収」を行い資源の大切さを実感しております。このような行事を通して町内の融和と結束をはかり、心のつながりを大切にしていきたくと願っております。

当町内自治会の組織は、会長・



西親野井区

区長
藤 肇

副会長・会計・各組長(理事)の計6名の役員で組織され、任期は2年とし、年1回の総会に於いて選挙で選任します。小世帯の町会ですが、大世帯の町会と行事等は同じですので、役員は繁忙をきたします。任期の2年間、身を引き締めて、町内の皆様の協力を得て、町会の運営に精進努力していきたいと思っております。

私たちの西親野井地区は市の北東部に位置し、江戸川を背にしたのかな田園地帯です。世帯数も十数年変わらず、つい最近ではスーパーム堤防の建設で2軒が移転で当地区を去り、現在は57世帯になりました。区を5組に分け各組に組長を置き、区長・区長代理2名・会計の計9名で運営しています。毎月第1土曜日には役員会を開き、連絡事項及び意見交換で親睦を図っています。小さな区のほぼ中心にある真言宗大王寺別院境内には、「木綿実塚、名月の、花か」と見えて綿島「はせを」の句が刻まれた、松尾芭蕉の句碑(右下に芭蕉の姿が描かれている)が祀られています。これは明治の頃まで一帯において綿栽培が盛

んであった事を示しています。また、地区の北東部には昭和40年に発掘された3500年前の縄文時代後期の遺跡である神明貝塚があります。一号人骨も出土しており、県内でも大規模な遺跡として学術上著名です。

地区の行事は総会、春秋のクリーナー、年3回の神社氏子による祭礼、防災訓練、市民体育祭等に参加があります。昨年11月の西宝珠花、上吉妻、芦橋、木崎、塚崎、西親野井の6地区合同による宝珠花小学校校庭での防災訓練は、市長はじめ大勢の来賓の方の参加のもと盛大に行われました。その時、

区民の方から耐用年数の切れた消火器を何とかしてほしいとの要望があり、新しい消火器の購入と合わせて古い消火器の処分を実施しました。また、防犯パトロールに全員参加の行事として取り組んでいます。2名1組で夕方から夜にかけて自転車等で地区一周を回り、不審者、街路灯の切れが無いかをチェック



自主防犯パトロール隊

しながらのパトロールを実施しています。

これからの区の皆様の要望を出来るだけ聞き入れて、小さいからこそその良さが有る地区に発展できるように、皆様と共に力を合わせ、努力したいと思えます。

豊町西地区



地区長 清水 三郎

豊町西地区は、西ハイッ自治会(世帯数180)中央自治会(世帯数44)から成り、地区の役割は、行政その他、公共機関との報告連絡、相談を主とし、自治会は親睦と交流に知恵を絞る行事を実施し、生活環境の充実と向上を目的としております。

今年度「食育のとりくみ」で文部科学大臣賞をダブル(団体と個人)受賞しました立野小学校学区内にあり、豊町6丁目B地区と隣接する増富の一部が豊町西地区です。

昭和61年に豊町南地区として登録し、平成12年に豊町西自治会連合会と豊町南立野地区に分かれ、平成15年から豊町西自治会連合会が豊町西地区に名称変更しました。

地区行事としては、6月の合同自主防災訓練と10月の豊春地区体育祭があります。以前は夏祭りを開催していましたが、平



日帰り旅行にて宇宙センターを見学

成15年から中止しています。

自治会行事活動としては(今年度西ハイッ自治会の例を挙げると)5月のガーデニング、8月のラジオ体操、9月の日帰りバスツアー(筑波宇宙センター見学とぶどう狩り)、12月のいも煮会、1月の講習会(認知症を学び地域で支えよう)を実施しました。

そのほか、毎月第1日曜日の9時から公園と近隣の清掃活動を行い、敬老の日には、節目対象者に記念品を贈呈、また小学校入学生と卒業生にも祝いの記念品を贈呈しております。

役員は分担を決め、任務を果たしています。

薄谷自治会



会長 渡辺 孝一

私たちの薄谷地区は武里地区

の西側に位置し、区域内には武里中学校があります。昭和29年の1町4カ村が合併し、春日部市が誕生した当時は30数世帯でしたが現在では187世帯になります。地域には香取神社が鎮座し、氏子の協力にてお守りしています。平成13年に参道の入口に、氏子の協力により石碑が建てられました。

次に自治会の組織や活動について述べます。会長・副会長・総務・班長で運営しております。年間の活動については、新年会、総会(班長会議・会計報告等)、春のクリーナー、夏祭り、防災訓練、地区体育祭、防犯活動などがあり、特に防犯活動においては防犯パトロール隊による安全パトロールや、青パトを使用したパトロールによって地域の安全を守っていただいております。高齢化が進みますが、安全で安心して暮らせる地域作りを目指したいと思います。



防犯パトロール隊の皆様

今後とも皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

本田上自治会



会長 時田 美野吉

私たちの自治会は、国道4号線より藤塚橋を渡り橋の袂より

県道春日部松伏線までの藤塚橋通り商店会の両側に位置し、古利根川寄りが広く県道側が狭い扇形の地域です。昭和53年に本田上の一部が区画整理事業により本田町に地名が変更され、その後急激に世帯が増加し、現在は会員数679世帯となりました。当自治会内には、433年の歴史を持つ藤塚香取神社があり、四季を通して多くの参拝客があり、特に正月三ヶ日は初詣客で賑わっております。自治会の構成は自治会長1名、副会長2名、理事若干名、会計2名、監事2名、班長38名で構成し、毎月5日に定例会を開催し、開催前30分と終了後に理事会を実施しております。行事について紹介します。4月に定例総会、会計年度は4月1日～翌年3月31日までです。毎月実施をしている廃品回収は実行委員会方式で、平成3年3月より第3日曜日に実施しております。当初の目的は子ども達に古里を創ってあげようと子ども御輿を買う目的



ふれあい広場 展示会場風景

でスタートしました。当時は古紙の単価が高く、毎月10万〜15万円の売り上げが有り、7月の納涼祭までに御輿を買う予定ですが、資金がたりないために自治会より貸付をして170万円の御輿を購入し、地区の宝物として皆さんに喜んで頂いております。その他に体育祭や敬老会、歩こう会とふれあい広場を実施、ふれあい広場については平成19年度より記念館内を1日開放し、お年寄りの陶器や絵、そして子ども達の習字と生け花、盆栽などを展示し、自治会内外で喜んで頂いております。その他にふれあいチームによるいきいきサロン、お食事会、お茶飲み会、防災会議と防災合同訓練の実施や、春のクリーンデーの参加、年2回の公園清掃などを実施しております。これからも日ごろのふれあいを大切に住んで

良かったと言える地区にしたいと思えます。

梅田一地区



地区長 清水盛也

私たちが梅田一地区は、東は古利根川、西は東武伊勢崎線、南は古隅田川、北は国道16号バイパスに囲まれた地域です。昔から村社女体神社を守りながら20軒位で生活をして来た集落でした。ここで女体神社の由来を少し述べたいと思います。社伝によれば当社は醍醐天皇の延喜元年(901年)の創立で当時梅田に住んでいた織部という人が村内の子どもが幼くして亡くなるが多かったことを憂い、子どもが健やかに育つようにと天神に祈願し、国生みの神である伊弉冉尊を産土神として祀ったのが起源で、古隅田川の北岸の最も高地に当る現社地に社殿を造営し祭事を行うようになったといえます。また元和8年(1622年)に二代將軍徳川秀忠が初めての日光社参拝に際し、街道筋の由緒ある社寺を訪れた時、金千疋の寄附があり、以来近隣の信仰を集めて大いに栄えたと伝えられています。このほか当社の歴史を示すものとして元禄2年(1689年)銘の鰐口、宝歴2年(1752年)銘



女体神社とチビッコ広場

の金幣、天保6年(1835年)に榛名山太々講中が奉納した手水鉢などがあります。当社の祭は毎年祈年祭(1月21日)、悪病除祭(5月1日)、祭礼(7月15日)、例大祭(10月9日)、新穀感謝祭(11月26日)の五回があり、いづれも神事のおと直会があり、お酒やごちそうをいただきます。自治会变遷につきましては、従来は梅田地区1つでしたが、人口の増加等により平成7年に梅田一地区、梅田二地区、梅田本町の3地区に分割しました。私たちの梅田一地区は平成12年に女体神社の敷地を借りて集会所を建て、明るい集会所での役員会等、様々な行事を老若男女を問わず、皆さんに開放して有効的に使用しております。また子ども達の遊び場であるチビッコ広場も女体神社の敷地内にあり、子ども達も天気の良い日はよる

こんで親子共々遊んでおります。以上報告いたします。

樋籠第一地区自治会



会長 田中統弘

当地区は、ほぼ中央に県立春日部東高等学校、南に牛島球場があり、若人の活気を身近に感じる環境にあります。現在世帯数140戸で全世帯を9組に編成し、正副自治会長、会計各1名、監事2名、組長9名と顧問3名で定期的な会合し、会の運営を行っています。地区の年間行事を月別に紹介いたします。1月は第3日曜日に定期総会と併せ新年懇親会、2月は初午と氏神様である白山神社の祭礼、3月は十日念仏・百万遍の行事(榛名神社の辻札を地区境の三方に立て、無病息災・悪病除け・五穀豊穣を祈願する)。この行事は半世紀前頃までは、数珠に見立てた縄につかまり、参加者全員でナイダ・ナイダと唱えながら、地区内1軒1軒をまわった時代もありました。現在は大分簡素化されてきていますが、先祖から伝えられてきた文化を形骸化しないよう行事の意義を把握し、集会所内で鐘の音に合わせ数珠をまわし肅々と行っています。4月は第1日曜日に歩こう会を開催しています。



地区集会所において敬老昼食会

相互の親睦を一義とし、子どもから高齢者が体力に依じてのコース別とし、歩行後は集会所でとん汁等を囲んで親交の輪を広げています。5月はかすかべクリーン作戦に参画し、例年大勢の方々の参加を頂き地区全域のゴミ拾いを行っています。7月は白山神社の祭礼(当番組)、10月は近隣地区との合同による自主防災訓練と幸松地区体育祭への参加、又敬老昼食会(満75歳以上の方)を実施しています。婦人会の協力による手料理のほか、余興の部で大正琴の教室である地区の花籠会の方々による演奏と毎回ゲスト出演者を依頼し開催いたしております。11月は幸松地区環境美化運動に伴い、地区全域の一斉清掃活動を行っております。12月より例年3月まで子ども達の下校見回りをボランティアの方々協力により実施しています。以上が主な行事です。今後とも相互の親睦を深め、地区の連帯感の向上に努め

ていきたいと思えますので、皆様のご協力と関係機関のご指導ご支援をお願い申し上げます。

大袈区



長 田中 昇

私たちの住む大袈区は市の南東部に位置しており、昭和30年頃は唯一南桜井駅のある区でした。区の中央に位置している蓮花院寺のおおよそ右前方線路南側にありましたが、昭和31年頃に手狭になり、現在の所へ移転しました。当時の大袈区は30戸足らずでしたが、市街化区域となり、昭和35年頃から宅地造成開発が進み、戸数が急増して、旧大袈地区は四地区に分かれ現在の大袈区(560世帯)となりました。近くには桜川小学校や南桜井駅があります。蓮花院寺は区のシンボルでもあり、樹齢450年を誇る歴史ある椋の大木がそびえ立ち、春から秋には緑豊かに生い茂り自然の力強さを感じております。

大袈区の組織は、区長・副区長・書記・会計・相談役2名・ひさご会・青年部・婦人部・子ども会・自警団等から構成し、趣味のクラブでは、グラントゴルフ、カラオケ、吹き矢・踊り・輪投げクラブ等々があり、毎週1回から数回の割合で、クラブ別で

練習を行っております。区の間活動は、毎月第4日曜日の資源回収、春のクリンデーへの参加、防災訓練、納涼祭りの実施があります。納涼祭りでは小学生を中心に、区内2方向に分け、子ども御輿大小4基で練り歩きます。また、庄和地区体育祭に参加し、3年連続で準優勝、一昨年昨年と優勝を果たしました。12月には餅つき祭りを実施、区内小学生以上を参加対象に臼と杵で餅つきの体験を通して、区民の親睦の和を図っています。この活動を通して地域住民の皆様との交流を深め、子どもたちやお年寄りとのコミュニケーションを図り、安心して安全に暮らしていける大袈区を目指して、区住民皆様方のご協力をいただき頑張つて参りたいと思っております。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



納涼まつりの子ども御輿

大場駅西自治会



長 上原 進

東武伊勢崎線武里駅西口に広がる約500世帯の自治会です。商・工農が交じり合う町並みで、活気が満ち溢れるハートウォーミングな雰囲気があります。自治会役員に老若男女を配し、充実した年間行事を催しております。特に7月最終土、日に開催する武里西口駅前夏祭りは2日間に渡り、駅前を中心に武里団地入口五差路迄を歩行者天国にして盛大に行われます。「子ども達に夢を与えよう!」をテーマに掲げ、地元武里小学校合唱部の合唱を皮切りに、中野中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けます。ハーレーダビットソン30台余りによる交通安全パレードが歩行者天国内を通過する雄姿は、沿



武里西口駅前夏祭り

道の人達の度肝を抜きます。地元有志によるゴレンジャーや、よさこい踊り、組太鼓、アマチュアバンドによるライブ、地元わんぱく子ども会の盆踊り、また歩行者天国内の所々で大道芸人によるジャグリング等、町全体がお祭りモードになります。フィナーレは婦人会の皆様による盆踊りで幕を閉じます。2日間関係各位の皆様方には、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。更に昨年からは餅つき大会をふれあひ広場祭りと称し、お餅をはじめ、焼鳥、焼肉、焼きそば、フランクフルト、とん汁等を用意し、多くの参加者に振る舞い、会員相互のコミュニケーションに役立てております。私は自治会長に就任してまだ1年ですが、これからも多くの会員の皆様に喜んで頂ける様、チャレンジしていきたいと考えております。

中央二丁目町会



町会長 田中 司夫

中央二丁目町会は市役所通りとふじ通りの交差点を起点として北と西に展開しています。世帯数は150前後で推移しています。

当町会は昭和47年に発足しました。その歩みを顧みますと画期的出来事が3つ挙げられます。



西口子ども御輿パレード集合写真

第一は、昭和54年に町会運営の拠点として切実に必要な集会所を借地の上に建設しました。25年後の平成15年にその土地を購入し、土地建物が町会の財産になりました。将来、集会所の建て替えに備え「集会所建設基金」を設け積み立てを行っております。

第二は、昭和51年に宮型の手造り子ども御輿、さらに昭和57年には舞台回転式の手造り山車が町会員の中央工務店様より寄贈されました。以来子ども達も大人も夏祭りを満喫しております。市民夏祭りの西口子ども御輿パレードには中央一丁目、立沼、宮本町、中央二丁目に参加しています。将来多くの町会の子どもの御輿が盛り盛況になることを願っています。

第三は、第26回柏壁地区市民体育祭(昭和55年)で初めて総

合優勝を飾ったことです。ちなみに第36回大会は総合3位、第44回大会は6位でした。

町会事業としては他町会とは同様に、新年会・自主防災訓練・体育祭・三世代交流事業・一泊親睦旅行等を行っております。

「中央二丁目町会に住んで良かった」と言われるために「目配り」「気配り」「思いやり」を第一に役員は奮闘努力しています。



下蛭田中央自治会

会長 永田幸太郎

下蛭田中央自治会は平成20年4月1日に長年お世話になった下蛭田自治会の元を離れ作られた自治会です。同年9月1日お隣の第1団地57世帯が新たに当自治会に加入しました。東武野田線豊春駅と国道16号線の間位置し、さいたま市岩槻区南平野と隣接する住み易く生活には最高の場所、大型マンションのコスモ春日部、エクレール①春日部、豊春があります。

自治会世帯数は566で、それを8ブロックに分け8人のブロック長が44班の班長さんの所へ市広報、その他連絡物を配っています。組織は会長・副会長・総務部・会計部・社会厚生部・環境衛生部・体育部・防犯防災部



家族交流いも煮会

監査となつています。その方々と三役会として常任役員会で決めたことは回覧にて知らせます。

21年度の中央自治会の活動を紹介します。5月17日防犯対策として振り込め詐欺について、春日部警察署佐々木氏に講師を依頼し好評を博しました。5月31日春日部市主催のクリーンデー参加、6月14日郷土の史跡をめぐるウォーキングツアーに33名参加。8月末のラジオ体操は小学生が中心で社会厚生部、防犯部が応援しました。9月20日市役所・消防署の応援で防災訓練を実施。10月11日豊春体育祭終了後、準優勝祝いを行いました。11月15日家族交流いも煮会は100人の参加がありました。今年度は自治会を結成して3年目に入ります。尚一層住み良い安

心の出来る自治会にしようと皆様に後押しをもらいながら頑張る所存です。



本田中地区

地区長 酒井秋男

私たちの住む本田中地区は、一ノ割駅より東へ1500m位の所にあります。地区の西側には、季節を問わず太公望で賑わう古利根川が流れ、地区の中央には、当地の守り神でもある藤塚香取神社と第5保育所がある、閑静な住宅地です。地区内を保育所の園児が保育士さんと、楽しそうに大きな声で話をしながら散歩されている光景もよく目にします。

当地区は、地区長・副地区長・会計・班長・クリーン推進員・藤塚香取神社氏子総代で運営し

防犯パトロール



防犯パトロール

ております。年間の活動としては、毎月交替で、班ごと地区内の防犯パトロールをしています。藤塚香取神社と古利根川沿いは、散歩をする方も多く、皆さんに楽しんでいただければと、特に気を付けて見回っています。また、地区の皆さんの協力のもと、本田上自治会にお世話になり、合同のふれあいお茶飲み会、お食事会、春のクリーンデー、古利根川清掃、防災訓練、体育祭参加など行っています。

またクリーン推進員さんが、地区内のゴミ出し状況をよく見てください、地区内の美化にも役立っており、感謝しております。当地区も住民の高齢化が進んでいます。健康に気を付けていただき、地区の皆さんと共に安全で住み良い地区を目指していきたいと思えます。今後とも、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

境に恵まれたところでもあります。自治会組織は、会長・会計・事務局長・班長・各専門担当委員・顧問で構成しています。緊急時には歴代の会長で組織している顧問会議を開催します。

年間の活動は、新年会・総会・春のクリーンデー・ふれあい旅行・防犯パトロールなどを行っています。新年会は毎回参加者の顔ぶれが決まっています。この顔ぶれが決まっています。この顔ぶれが決まっています。

歌の苦手な方は欠席が多いのではないかと思います。第一部は『心おきなく親睦を深めてもらおうお話タイム』、2部では『歌の好きな方にカラオケタイム』を設けました。また、『入退場自由』にしたところ、参加者も増えました。

平成21年8月25日に発足しました南桜井駅周辺・町づくり協議会は、駅周辺自治会、商店会、桜川小学校・町づくりコンサル

中屋舗自治会



会長 会 鉄 寿章

私たちの自治会を紹介します。中屋舗自治会は南桜井駅南口を出て、歩いて2〜3分のところにあります。南側に田園風景が広がり、東側には徒歩「約二十分」で江戸川と絶好の散歩道になっています。また、通勤、通学環



ふれあい旅行

タント、春日部市と共同で、安全・安心なにぎわいと交流のある町づくりを目指して毎月1〜2回開催しています。当自治会も駅に近いこともあり、班長会議に積極的に取り入れ、各班長の提案・要望を受け、会議に臨んでいます。

これからも行政との連携を密に図りながら地域の交流と親睦を深め、安全・安心な住みやすい地区を目指して活動を推進していきたいと思っています。今後とも皆様のご支援ご協力をお願いします。



千間一丁目自治会
会長 前原 晃

昭和57年、大枝地区と分かれ千間一丁目自治会が誕生しました。武里団地と、越谷に建設された公団住宅「パークタウン」に挟まれ、北側に新方川が流れる一角にあります。武里団地方面から新方川の橋を渡ると越谷市では？といわれることが多く、別名、春日部の「南の孤島」とも。しかし、環境には恵まれ、せんげん台駅には近いという利点があります。自慢は新方川沿いに800mに亘って自治会有志が植樹した桜です。春の満開時には、桜のピンクと、土手に咲く菜の花の黄色とのコントラストが素晴らしく、多くの人の目を楽しませます。また、川には大きな鯉が泳ぎ、川面の水鳥やカワセミも飛び交う、隠れた名所となっています。

また、川には大きな鯉が泳ぎ、川面の水鳥やカワセミも飛び交う、隠れた名所となっています。

さて、自治会活動は、会員の協力によりパトロール隊を結成し、週1回の夜間パトロール、青パトによる昼間の巡回も行っています。また、クリーンデーとして毎月第6公園内と新方川沿いを清掃すると同時に、新聞雑誌などの資源回収を実施しています。夏には公園内での夏祭りを開催。さらに最近誕生した「子ども会」ではサツマイモの植え付けから収穫までをお母さん方と一緒に楽しむなど、自治会ぐるみで活発なコミュニケーションや防犯活動・環境整備などに努めています。

また、レクリエーション活動では、毎週日曜日にソフトボールチームの練習や対抗試合を行います、今年で27年目に入った「千



自慢の桜並木

間ゴルフクラブ」では年3回のコンペを開催しています。このほか、秋には三世交代交流グラウンドゴルフ大会、賭けない、吸わない、飲まないの健康麻雀大会を年3場所開くなど、多岐の活動によって会員の親睦を図り、春日部市が目指す「日本一幸せに暮らせるまち」を先取りして実践していると自負しています。



赤崎区自治会
会長 井上 昇

私たちの住む赤崎区は市の南東部に位置し、南北に流れる中川（旧庄内古川）に面し、南側は松伏町に隣接、区の中央を南北に広域農道が走る生活環境には恵まれた地区で、区全体で約100町歩を耕作する準農村地区です。区には2霊神社があり、1つは家内安全、豊作を願う「稲荷神社」で、もう1つは安産の神様「日枝神社」です。この神社には、近隣各地より毎年多くの方が安産祈願に来社されます。そして、両神社では大晦日には氏子総代の方が、お茶、甘酒などを用意して初詣される皆さんを迎えます。

区の組織は区長・副区長・会計・監査2・各組長9・計14名で108世帯の運営をしています。年間の事業、行事としては、

新年会・総会・組長会議、3月には区で重機所有者による用水路の浚渫作業、4月には水路の草刈りクリーン作戦、6、8月は全戸参加の用排水堀の草刈り、そして防災訓練、平成19年に設立した自主防災組織による防犯パトロール、3世代交流ユニカール大会、また8月には区の一大イベントの夏祭りがあります。この時は各種団体・同志会・真友会・婦人部・子ども会・老人会の協力により盛大に開催しています。特にここ10年位南越谷阿波踊りより「おきらく連」一行15〜20名の皆さんが、本場の踊りを披露してくれます。最後には区民一体となって輪踊りを行い、楽しい一夜を過ごしています。区としてこれからも地区の活性化、信頼性の向上に向かって進んでいきたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。



赤崎集会所

役員視察研修報告

さる平成21年11月19日・20日、協働推進条例と災害時の要援護者避難支援制度について、先進地である山形県米沢市と福島県福島市を視察しました。

米沢市では、市民と市が共に参加してつくる活力あふれた地域社会実現を目的として「協働推進条例」を制定されており、新たな視点からの協働という概念について解説をいただきました。

また、福島市では、「災害時要援護者避難支援プラン全体計画」を策定し、要援護者の自助・地域（近隣）の共助を基本とし、情報伝達・避難支援体制の整備を図っておられました。

研修を通じ、春日部市自治会基本条例や新型インフルエンザへの対応など、新たな課題に対する自治会活動に大いに参考とさせていただきます。

今後、自主防災をはじめ、地域全員で協力し助け合う自治会活動においても、自治会基本条例の規定する市民の責務・協働の理念を実践してまいりたいと考えております。



内牧地区の紹介

内牧地区は春日部市で一番古くから人が住み着いたところで、二万年前の石器時代の遺跡が内牧公園で発掘されています。その後の縄文時代(六千年前)の住居跡や土器等も発掘され、古墳時代を経て幾多の変遷を経ながら現在に引き継がれています。

また、当地区は、里山と畑が多く自然が豊かな内牧地区、近年開発が進み農・住が混合している梅田地区及び区画整理によって開発された住宅地帯の栄町地区に大別することができます。それぞれの地区が、これまでの特色ある伝統と慣習をもって運営され、内牧地区自治会連合会は、それらを尊重しながらも各地区同士との連携と調和を図りながら運営されています。

地区では体育祭・文化祭・夏祭り等の全体行事の外、各地区での盆踊り・餅つき・神社仏閣の祭礼行事等が行われ、住民同士の意思疎通に大切な役割を果たしています。そして力して成果を上げています。

内牧地区は市内外から多くの方が訪れる内牧公園・屋敷林及び果物や野菜の産直が行われている田畑等緑が多く残され、市内でも緑豊かな貴重な場所です。

私達はこれらの環境と伝統を大切にしながらも、環境・福祉・防犯等において住民一同協力して、新たな試みを取り入れつつ、安全で安心な一段と住みよい地域に成るよう努力しております。

●内牧地区自治会連合会 (11自治会)

[敬称略]

内 牧 一 区 自 治 会	大 塚 栄 一
内 牧 二 区 自 治 会 連 合 会	尾 堤 光 作
内 牧 三 区	田 口 啓 一
内 牧 四 区 地 区	永 瀬 弘 弘
グリーンプーク春日部自治会	大 野 誠 一
梅 田 一 区 地 区	清 水 盛 也
梅 田 二 区 自 治 会	京 極 壽 一
梅 田 本 町 地 区	斎 藤 清 夫
栄 町 一 丁 目 町 会 会	渡 辺 輝 夫
栄 町 二 丁 目 町 会 会	板 倉 肇 和
栄 町 三 丁 目 町 会	今 井 和 和

*連合会名簿順

(平成22年2月1日現在)

防犯及び福祉等についても地区内の各団体が積極的に協

内牧地区自治会連合会 会長 板倉 肇

市議会議員定数削減を求める 請願提出及び結果報告

当連合会では、独自の活動として、多くの会員の皆様の声を代弁していきたいと考え、これまで市議会に対し、議員定数の削減を検討するようにお願いしてまいりました。今年度は、昨年12月定例会に請願を提出させていただきました。当連合会会員が議会運営委員会並びに本会議を傍聴いたしました。

本会議での採決の結果は採択となりました。その後、「議員定数を現行36人から4人削減して32人とする」議員提議案が提案され、議決されました。

以上で、多くの会員の皆様のご意見を反映すべく行なってきたまいりました議員定数削減に係る当連合会の活動報告とし、今後も新たな課題等に連合会として取り組んでまいりたいと考えております。

地域貢献賞表彰報告

当連合会では、身近な地域で地道にかつ顕著な活動をされている方々の功績を讃えるため、昨年度に地域貢献賞を創設し、今年度は平成22年2月20日に表彰をさせていただきました。ここに、受賞者のお名前を掲載し、長年地域に貢献いただいたことに深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には、地域活動に関心を高めていただき、心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりにご協力をよろしくお願い申し上げます。

○公共生活・生活安全・環境美化・社会福祉への貢献

自治会名	氏 名
元 新 宿 町 内 会	小嶋喜代美
内 谷 町 会	五十畑フサ
八 木 崎 町 会	濱野 信雄
立 沼 町 会	飯田 勇雄
梅 田 本 町 地 区	浜 島 隆 雄
栄 町 二 丁 目 町 会	杉 山 將 将
栄 町 三 丁 目 町 会	間 庭 憲 司
備 後 西 川 自 治 会	野 澤 孝 寿
備 後 須 賀 第 2 町 会	池 田 實 實
大 畑 自 治 会	小 暮 久 子
大 枝 地 区 自 治 会	正 籬 武 男
宮 川 自 治 会	高 澤 勝 美
東 不 動 院 野 地 区	濱 田 仁 仁
赤 沼 自 治 会	鈴 木 敬 一
本 田 上 自 治 会	濱 野 嘉 代 子
豊 野 町 自 治 会	尾 谷 英 一
西 金 野 井 西 区	折 原 勝 夫

※敬称略

編集後記

桜の咲く今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

本会報の表紙には、国道4号バイパス「道の駅庄和」の北東側水路沿いに位置する桜並木の写真を掲載しております。この区域は、ボランティア団体による環境美化活動で美観が保たれ、ポイ捨て等のゴミも無く、美しい桜が見られる市との協働の好例となっております。自治会活動は、本年4月施行の自治基本条例にある市との協働を実践する地域コミュニティの核であります。今後は、環境・防災・防犯・福祉活動などテーマごとのコミュニティ団体とも連携を深め、地域の力を発揮して明るいまちづくりに努めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集委員氏名

会 長	時 田 美野吉
副 会 長	関 根 慶 剛
副 会 長	板 倉 肇 和
副 会 長	久 保 谷 哲 夫
副 会 長	清 水 三 郎
副 会 長	石 島 忠 保
副 会 長	関 根 保 夫

発行日 平成二十二年四月一日
発行者 春日部市自治会連合会
事務局 春日部市役所市民参加推進課内
〇四八(七三六)一一一一